

【大熊委員】この町からスポーツ選手が生まれるよう、幼少期からの運動をさらに充実させてほしい。

【生涯学習課長】現在実施している幼児、小中学生の運動教室を継続して、運動機能の向上や運動を好きになってもらえるよう進めていきます。

【盗谷委員】スポーツ選手の育成について、スキー場のある町として地域おこし協力隊制度を活用して指導者を養成する考えは。

【生涯学習課長】他町での事例はありますが、現状では難しいところですが、

【村中町長】スポーツ選手のセカンドキャリアの課題も聞くところで、

【植西委員】旭川市ではいじめ事件を受け、市長直轄の第三者委員会設置の動きがあるが、町内で完結されない事件を想定し、こういった組織との連携が必要ではないか。

【北川教育長】本町ではいじめ防止基本方針により関係者の共通理解を図っており、新たに町立学校づくりの指針を策定し最終的な責任の所在を明らかにしていますが、旭川市も含め近隣町との連携についても考えていく必要があると思っています。

### ▽国民健康保険 特別会計

【遠藤委員】子どもの均等割負担軽減についての考えは。

【保健福祉課長】軽減の拡大は検討していませんが、運営協議会の中で議論し、必要となれば実施したいと思います。

【村中町長】全道の流れを情報収集してスタンダードな仕組みになるかを見極めてから検討します。

### ▽介護保険特別会計

【遠藤委員】特養など介護施設利用者の補足給付費の見直しにより2万円以上の負担増になった。安心して介護が受けられるように、制度の見直しを国に求めていくのか。高額負担になり空室が増えるのではないかと危惧する。特養を守ってほしい。

【保健福祉課長】国の制度に基づいて行っています。施設からの要望がありましたら検討します。

【村中町長】国の制度どおり進めさせていたのですが、町民の方が困っていることがあれば、できるだけ助けるのが福祉と考えますので、今後の状況を見ていきます。

### ▽観光事業特別会計

【谷口委員】使用料予算額に少しでも近づけるように次シーズンに向けての考えは。また、SNSやYouTubeなどを活用して、行ってみたいと思わせることが大切と考えるがどうか。

【産業振興課長】近郊の方、学校授業の場、自衛隊の訓練の場としてなど基本的なスタンスは変わりませんが、SNS等で興味を引く取り組みにも努めていきたいと思えます。

### ▽簡易水道事業 特別会計

【植西委員】公営企業会計移行の進捗状況、料金改定の予定、水道管の早期更新などの考えは。

【建設課長】固定資産の調査を実施し、新年度は地方公営企業適用の委託業務を行う予定です。料金改定は考えておらず、水道管の前倒し更新についても必要ないと考えています。

### ▽公共下水道事業 特別会計

【植西委員】ブラックアウトの際に下水道のバックアップ電源の課題が生じたが、対応は完了しているか。

【建設課長】発電機2台と運搬用のクレーン付きトラックを購入し完了しました。

### ▽総括質疑

【遠藤委員】ゼロカーボン宣言を浸透させるためには、専門性のある人材が必要と考えるが、人材、担当部署をどのように考えているか。また、町民が楽しみながら脱炭素に貢献できる活動を例示してほしい。

【村中町長】専門的な部分は大学などと連携して知識、知恵の共有をしていきたいと思えます。本町でも温暖化が原因とみられる影響がありますので、少しずつですが有機農産物の活用や公用自転車の活用などに取り組んでいきます。町民に対しては、今年度作成する計画の中で協議して、楽しみながら環境問題に貢献できる事業も考えられればと思います。

【植西委員】町長、教育長の執行方針をもっと積極的に伝え、町民と目標を共有し、全員で目的を達成できれば「最幸」の町になると思う。また、未知、不確実、不安定な時代の中、町長の政治判断によって前進していくことを期待したい。

【村中町長】オール比布の体制でまちづくりを進めたいと考えています。政策や町の計画については広報紙、予算については「今年の予算の使い道」を発行していますが、見えない方もいらつしやると思います。伝える力は非常に大切ですので、今後も発信に努めたいと思います。コロナ禍においてもできることを一歩一歩確実に、まちづくり計画の理念に近づけるよう頑張ります。

者人口の増加に対応する交通体系を考えてもらいたい。また、来年以降の指定管理のあり方を含めた良佳村全体についての考え方を伺いたい。

【村中町長】交通体系については、昨年のまちづくり懇談会において案をご提示し、大きな反対はなかったと感じています。道北バス路線の変更も伴いますので、市街地の方々の意見も必要と思っています。駅周辺を核としたコミュニティについては同感するところです。

遊湯びっぶの指定管理については、新型コロナウイルスの影響によって正確な分析ができない状況にありますが、最初の議論は、町として必要な施設か、必要のない施設かをはっきりさせたいので、今後の議論になると思っています。良佳村には多くの方に訪れていただいていますので、この強みを生かせるように今後議論していきたいと思えます。

3/10

## 議員説明会が開かれました

3月10日に、北海道初のプロバレーボールチーム「ヴォレアス北海道」を運営する株式会社VOREASの池田憲士郎代表取締役社長から、「ヴィレッジ・バイ・ヴォレアス（旧比布中学校）」のリニューアル計画について説明を受けました。

同社では現在、町内外から多くの皆さんが集い、コミュニケーションの場として利用できる施設として、「ヴィレッジ・バイ・ヴォレアス」の改修を計画しており、町は同社と相互の包括的な連携協力のもと、旧比布中学校を専用練習施設として提供しているほか、企業版ふるさと納税（地方創生応援税制）制度を

活用した「生涯活躍のまちの推進事業」の取り組みとして支援していきます。

説明会では池田社長から、今後のプロジェクトの理念や具体的な計画などが熱く語られ、各議員からは質疑やチームに対する激励の言葉がかけられました。ヴォレアス北海道は3月27日にV2優勝を果たしたものの、4月9～10日に行われた入替戦に敗れ、惜しくもV1昇格は逃しましたが、今後の活躍と改修計画の進展に町議会としても期待をしています。



株式会社VOREASの池田憲士郎代表取締役社長（左）と木下瑛博マネージャー

